

ウォーターサーバー取扱説明書

型式: HTR-1602S
(S型)
卓上型

ウォーターサーバーからは熱湯が出ます。
お子様などのヤケドにつながる恐れがありますので
取扱いには十分ご注意ください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。お読みになった後も、
この取扱説明書はこの製品をご使用になる方が
いつでも見られるように大切に保管して下さい。

2018.07 (5)

安全上の注意事項

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、次のような区分表示をしています。いずれも安全や衛生に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しくお使い下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用時のお願いです。

絵表示の例

禁止	左記の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は「禁止」)が描かれています。
注意	左記の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は「注意」)が描かれています。

警告 (設置上の注意事項)

- 注意** 設置面が水平で丈夫な所に設置してください。設置面が安定していないと、転倒や落下により事故やケガ、感電、火災、火傷の恐れがあります。
- 禁止** 延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。異常発熱し、発火や感電することがあります。
- 注意** ウォーターサーバーの背面と側面は10cm以上あけてください。冷却性能確保のため必要です。壁が汚れたり、火災や故障の原因となります。
- 禁止** 電源は単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを単独で使用してください。
- 禁止** 電源コード、電源プラグの破損・加工をしないでください。束ねたり無理に曲げたり、引っ張ったり物を乗せたりして、衝撃を与えたり、無理な力を加えない、傷つけない、加工しない。感電、ショート、火災の原因となります。
- アース接続** 必ずアースしてください。故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。

注意 (設置上の注意事項)

- 禁止** 屋外や湿気が多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる場所、直射日光が当たる場所やストーブなど発熱物のそばには設置しないでください。使えなくなったり、機器の性能が得られなかったり、機器の寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 禁止** サーバーやボトルの周囲に強いものを置かないでください。水の風味に影響を及ぼすことがあります。
- 禁止** 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所やシンナー等の揮発性の高い溶剤等を機器の近くで使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- 注意** 電気プラグにホコリがないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。
- 禁止** ホコリっぽい場所や不衛生な場所には設置しないでください。水質が変化してそれを飲用した場合、体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

警告 (使用上の注意事項)

- 濡手禁止** 電源プラグは濡れた手でさわらないでください。感電の原因になります。
- 禁止** お客様ご自身では絶対に分解したり修理改善は行わないでください。異常作動したり、感電や漏水の原因となります。
- 必ず行う** 電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。ホコリがたまり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 電源抜く** 焦げ臭い等の異常がある場合は、電源プラグを抜いて、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡してください。異常のまま使い続けると故障や感電、火災の恐れがあります。
- 禁止** 幼児や正しく操作することが困難な人が、一人で操作しないでください。火傷や感電の恐れがあります。
- 禁止** 背面の放熱部から指や棒を入れないでください。高温タンクで火傷したり、感電の恐れがあります。
- 禁止** 電源コードを持ってプラグを引き抜かないでください。コードを持って引き抜くとコードが破損し発熱、火災、感電の恐れがあります。
- 絶対禁止** ボトルに他の水や液体を入れたりそのボトルを機器に装着して使用しないでください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

注意 (使用上の注意事項)

- 禁止** 他のボトルは使用しないでください。このウォーターサーバーは当社ボトル専用です。水漏れの原因や不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 注意** 2週間以上使用しない時はTOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡してください。1ヶ月以上使用しない時はTOKAIお客様センター(0120-737-113)にメンテナンス(有償)を依頼してください。
- 注意** ボトルの差込口周辺や冷水・温水蛇口の出口部は時々清掃してください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 禁止** 背面の温水ドレン口のキャップを緩める(外す)と熱湯が出て火傷をする恐れがあります。水抜き以外では絶対に触れないでください。水抜きの場合には、電源を抜いて60分以上放置してから実施してください。
- 高温注意** 温水を出す時は火傷に注意してください。
- 注意** HOT S/W(ホットスイッチ)はOFFにしないでください。一年中スイッチを入れたままにしないでください。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 注意** ご使用時に特にご注意いただきたい事項があります。5.ご使用時に特にご注意いただきたいことをご覧ください。
- 注意** 壁とウォーターサーバーの間にもものを置かないようにしてください。冷却性能確保のため必要です。火災や故障の原因となります。
- 注意** 電源コードが破損した場合は、電源プラグを抜き、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡してください。

お願い

- 電源抜く** 雷が発生しはじめたら、すみやかに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷により一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだら電源プラグを差し込んでください。
- 注意** 空になったボトルはお住まいの地域の条例に従って廃棄してください。
● ボトル本体: PET
● プラスチックキャップ: その他のプラスチック
● ボトル底のテープ: その他のプラスチック

各部の名称と仕様

正面

- ボトルカバー
- タッチパネル
- 冷水注水口
- 冷水注水ボタン
- 温水注水口
- 温水注水ボタン
- 水受皿

上部

- ウォーターガード
- ボトル差込口
- ボトルガイド
- ボトルカバーガイド

背面

- コンプレッサー
- アース
- コンデンサ

タッチパネル

- 内部クリーン
- 内部クリーンボタン
- HOT灯
- 温水ロックボタン
- COLD灯
- 冷水ロックボタン
- ライトセンサー
- ライトセンサー灯
- 光感知部

ボトル [12リットル]

- 持ち手テープ

2)仕様

名称	ウォーターサーバー
型式	HTR-1602S (S型 卓上型)
寸法	W270×D360×H855mm
重量	15kg
電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	440W (冷水:1.3A(90W)、温水:350W)
冷最大供給能力	最大供給能力 約1.3ℓ 180mlカップ約7杯
水温度	4~12℃
温最大供給能力	最大供給能力 約1.0ℓ 180mlカップ約6杯
水温度	80~90℃

※冷水・温水の温度は、設置環境や使用状況により、若干異なる場合があります。
※仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。
■輸入元: AW-ウォーター株式会社 ■生産国: 大韓民国

設置方法

- 1) ウォーターサーバーの設置** 電源コードは1.7mです。
- ① サーバートレイとサーバーを箱から出してください。
 - ② コンセントのある場所にサーバートレイをセットしてください。角が鋭い方が前側です。
 - ③ サーバートレイのガイド穴にサーバーのゴム脚を合わせて載せてください。
- 注意** まだ、コンセントに電源プラグを差し込まないでください。
- チェックポイント**
- ① 0℃以下の低温となる場所に設置しないでください。
 - ② 平らで安定した場所に設置してください。
 - ③ 後方が壁から10cm、側面も10cm以上離して設置してください。
 - ④ 設置や移動時にはウォーターサーバーを45度以上傾けないでください。
 - ⑤ 屋外や直射日光の当たる場所やストーブの近くに設置しないでください。
 - ⑥ 温水ドレン口が閉まっているか確認してください。
- 2) アースの取り付け**
- アース接続** アースは万一の感電事故を防ぐためのものです。安全のため必ず取り付けてください。
- 3) ボトルの準備**
- ① ボトルを箱から出してください。
 - ② ボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等で乾拭きしてください。
 - ③ プラスチックキャップの上面のキャップシールを剥いてください。
- 注意** ボトル開封の際にカッターナイフを使用しないでください。ボトルに傷が付いて水漏れする恐れがあります。
- 注意** プラスチックキャップは水を使い切るまで外さないでください。当社のボトル以外は使用しないでください。水漏れする恐れがあります。

- 4) ボトルをウォーターサーバーにセット**
- ウォーターサーバー上面のウォーターガードの中央部のパイプへボトルを逆さまにして、真下に手早くしっかり差し込んでください。
- 注意** ボトルを差し込んだ後、ボトルを押ししたり、廻したりしないでください。
- チェックポイント**
- 水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
- 5) 電源プラグをコンセントに差し込む**
- 電源プラグの注意タグを外してからプラグをコンセントに挿し込んでください。COLD灯が点灯し、冷水運転を開始します。
- 禁止** コンセントのタコ足配線は発熱し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。
- 注意** タコ足配線禁止
- 6) 温水タンク内のエア抜き**
- タッチパネルの[温水]を3秒以上長押し(①)してください。HOT灯が点滅します。HOT灯が点滅中に、温水注水ボタンを押します(②)。この時右図のようにコップ等で水を受けてください。水が出てきたら、エア抜きは完了です。
- 必ず行う**
- 7) HOT S/W(ホットスイッチ)をONにする**
- これで温水運転を開始します。HOTモードなら赤色、ECOモードなら緑色が点灯します。
- 注意** 温水を使用しない場合でも、HOT S/W(ホットスイッチ)は必ずONにしてください。温水切替スイッチはECOモードでもお使いいただけます。
- 設置終了後30~40分で温水および冷水が適温となります。(室温により時間が延びることがあります)
- 8) 設置の確認**
- ボトルや温水・冷水蛇口、背面の温水ドレン口など、ウォーターサーバーの周辺から水漏れがないかチェックしてください。
- 9) ボトルカバーを乗せる。**
- 10) 冷水・温水の蛇口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。**

ご使用方法

- 1) 冷水の出し方**
- タッチパネルの[冷水]を1回押ししてから①、冷水注水ボタンを押します②。
- 2) 温水の出し方**
- タッチパネルの[温水]を3秒以上長押ししてから①、温水注水ボタンを押します②。熱湯が出ますのでご注意ください。
- チェックポイント**
- 操作後、5秒間は再度注水ボタンを押すと熱湯が出ます。
※HOT灯点滅中に冷水注水ボタンを押すと直ちに湯が出ない状態にすることができます。
- 注意**
- ・温水を出す時はヤケドに注意してください。
 - ・小さなお子様には使用させないでください。ヤケドの恐れがあります。
 - ・ボトルが空になると、冷水は出ますが、温水は出なくなります。
 - ・ボトルを交換すると、すぐにお湯が出ます。
- 3) チャイルドロック**
- タッチパネルの[温水]と[冷水]を5秒間長押しすると、全ての操作ができなくなります。解除する時はもう一度[温水]と[冷水]を5秒間長押ししてください。(ロック中はロック灯が赤で点灯します。)
- 4) 温水・冷水切替スイッチの使い方**
- | | | |
|----------|------------------------|----------|
| 温水切替スイッチ | HOTモード | ECOモード |
| 出湯温度 | 80~90℃ | 60~70℃ |
| HOT灯の色 | 赤色 | 緑色 |
| 最大連続取水量 | 温水 約1.0ℓ(180mlのカップ約6杯) | |
| 冷水切替スイッチ | ECOモード | COLDモード |
| 運転モード | 弱冷(4~12℃) | 強冷(3~8℃) |
| COLD灯の色 | 緑色 | 青色 |
| 最大連続取水量 | 冷水 約1.3ℓ(180mlのカップ約7杯) | |
- 外出時や就寝時にECOに切替えると電気代の節約になります。
・温水切替スイッチをECOからHOTに変更すると、約15分で温水が設定温度になります。
・能力を超えて取水すると設定温度が得られなくなります。しばらくしてからご使用ください。
- 5) LIGHT SENSOR(ライトセンサースイッチ)について**
- LIGHT SENSORをONにする(ライトセンサー灯が緑色で点灯します)と、お部屋の明るさを感じて、周囲が暗くなると、温水をOFFにして自動で節電します。そのため、明るくなった直後にはお湯がぬるい場合があります。LIGHT SENSORをOFFにすると、明るさに関係なく温水がご利用いただけます。
- 6) 操作音のOFFについて**
- タッチパネルの[冷水]を5回連続押しすると操作音がOFFになります。もう一度5回連続押しすると操作音がONになります。

ご使用時に特にご注意ください

1) 乳幼児がウォーターサーバーに近づかないようご注意ください。

注意 ウォーターサーバーに乳幼児が近づかないようにしてください。
※火傷の恐れがあります。

2) 冷水や温水を受ける容器は、蛇口の真下で出水口から少し距離をあけて受けて下さい。 出水口に指や食品が触れないように注意してください。

出水口に容器が近すぎると、出水口が容器内の液体に浸かってしまい、不衛生になります。注水の際に、コーヒー、紅茶、アルコールなどが跳ね返って付着し、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。
指や食品に付着している雑菌が出水口に付着して、注水される水が不衛生になります。

コーヒーのドリップパウダーなどが付着している直接飲む
出水口が当たって指で触る

3) 水受皿に容器を置いて、温水や冷水を出さないでください。 容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。容器は手に持ってお使いください。

4) ボトルの取り外し方。

① ボトルカバーを外してください。
② ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使い切ってから抜いてください。
③ ボトルを外す時は必ず真上に一気に引き上げてください。ボトル内の中栓がボトルを引き上げることで、自動的に締まりますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。
④ ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が締まらないことがあります。ボトル内に水が残っている場合は漏れることがあります。
⑤ 機器の構造上わずかですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。

注意 中栓が浮いている

5) ボトルの取り付け方。

注意 ボトルは大変重いので取り扱いにはご注意ください。

① 交換する新しいボトルを機器の近くに用意してください。新しいボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等できれいに拭きとってください。

② ボトル差込口はボトルを押し込む前に、ボトルガイドを外しキッチンペーパーなどで空拭きしてください。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)

③ 新しいボトルのキャップシールを剥がしてください。ボトルを逆さまに持ち上げ、差込口に真下に手早くしっかり差し込んでください。ボトルがウォーターガードにあたるまで押し込んで完了です。

禁止 差し込んだボトルは押さないでください。水が漏れることがあります。

注意 ボトルが斜めになっているとボトルの中栓が外れてしまい、水中に浮き上がってしまう場合があります。そのまま使っただけでも使用には差し支えありませんが、この場合、ボトルに水が残っている状態でボトルを外すと水が漏れますので完全に使い切ってから外してください。ボトルを斜めに差し込むとキャップが削れ、機器内に削れカスが入る場合がありますのでご注意ください。

注意 手をはさまないように注意

注意 ボトルを斜めに差し込まない

チェックポイント
ボトルの水がなくなると
① 温水蛇口から温水が出なくなります。
② 新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

ボトルのお取り扱いについて

ボトルは使い切りの容器です。絶対に市販のミネラルウォーターやその他の飲料を入れて再使用しないでください。

1) 賞味期限
① 未開封の賞味期限はボトルキャップの側面に印字されています。開封後はなるべく早くお飲みください。

2) 保管について

禁止 ボトルは箱に入れたままの状態での保管してください。保管の際には、箱の上下に注意してください。さかさまに置いたり、横倒しにしてしまうと、水が漏れることがあります。

禁止 保管にあたっては、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。

禁止 次のような場所での保管は、絶対にしてしないでください。
● 屋外、ベランダなど直射日光や雨の当る場所
● ホコリが多い場所
● 高温多湿になる場所
● 氷点下になる場所
● においの強いもの(台所油や芳香剤など)の近く

3) 使用済みのボトルについて
ボトルの廃棄方法(ボトルはリサイクルできるPET樹脂です。)

① ボトルキャップの取り外しは切り込みに沿って裂きながら外してください。ボトルキャップはプラスチックごみとして廃棄してください。

② ボトル底部のテープは粘着部分を引き剥がしてください。テープはプラスチックごみとして廃棄してください。

③ ボトル本体は、使用済みのつぶれた状態で、お住まいの地域の条例に従って、廃棄してください。

お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さまご自身によるお手入れです。特にペットを室内で飼っている場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。

1) 普段のお手入れ

注意 お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。濡れた手でお手入れはしないでください。お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。

注意 電源プラグを抜いてください。手を洗ってください。

① 頻繁に行っていただくお手入れ

a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)
● ボトル差込口に水が溜まっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
● 水がたまったままボトルをセットすると、水が飛散したり、思わぬ場所から漏れ出す恐れがあります。
● ボトル交換の際に、ボトルガイドを取り外して水がたまっていないかご確認いただき、水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。

b. 冷・温水蛇口(一日一回以上)
蛇口の吐水口は外して洗うことができます。

注意 温水蛇口は熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。

c. 水受皿(一日一回以上)
食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。

注意 水受皿は手前に引っ張ると取り外しできます

注意 全体を拭き取ります

② 定期的に行っていただくお手入れ

a. 本体外面とボトルカバー(一週間に一回程度)
清潔なタオル等で乾拭きしてください。汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭き取ってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。

b. 背面部分(コンデンサ)(一週間に一回程度)
ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。ホコリが付着すると冷却能力が低下します。やわらかいブラシや掃除機等で掃除してください。

c. 電源プラグ(一週間に一回程度)
電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象が起こり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。

お手入れ方法と日常点検

2) 内部クリーンについて
内部クリーンはウォーターサーバー内の冷水タンクに温水を循環させて、殺菌を行い、内部の環境を衛生的に維持します。週に1度を目安にご使用ください。

① 操作方法
・ボトルに水が残っていることを確認してください。(水がないと殺菌になりません。)
・タッチパネルの[内部クリーン]を3秒以上長押しします。
・クリーン灯が点灯し、温水循環が開始します。
・内部クリーンを開始すると温水は約2時間、冷水は約4時間使用できなくなります。
・作業終了後、冷水の温度が10℃以下になると、注水できるようになります。

② 中断方法(内部クリーンを途中で中止する場合)
・タッチパネルの[内部クリーン]を3秒以上長押しします。
・冷水の温度が10℃以下になると、注水できるようになります。

内部クリーンを2週間に1回実施しないと、クリーン灯が点滅します。内部クリーンを実施してください。

3) 長時間使用されない場合のお手入れ

お願い
ウォーターサーバーを長時間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。2週間以上使用されない場合は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡してください。1ヶ月以上使用されない場合は、サーバーメンテナンス(有償)を依頼して下さい。

注意 作業を行なう前に必ず背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。※この作業はすみやかに行って下さい。

① ウォーターサーバーからボトルを外す。(「5-4」ボトルの取り外し方)参照)

② 熱湯が冷めるのを待つ(電源を抜いてから60分以上)。
火傷する恐れがありますのでご注意ください。

③ 温水蛇口からコップ等に水を汲み、冷めているか確認する。

④ 冷水蛇口をバケツ等で受けて、冷水蛇口を開き、冷水を完全に抜く。

⑤ 背面の温水ドレン口をバケツ等で受けて、温水ドレン口のキャップを外し、温水を完全に抜く。
熱湯が出る場合がありますのでご注意ください。

⑥ 温水ドレン口を閉める。

⑦ ボトル差込口、冷水蛇口、温水蛇口、水受皿等の掃除を行なう。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)

⑧ ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。
(ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する)

⑨ 蛇口も食品用ラップ等でぐるむようにしてホコリが付着しないようにする。

⑩ 直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。

注意 大きなバケツを置いて温水を抜く

注意 ラップをかける

4) 再びご使用を開始される場合
再びご使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますのでTOKAIお客様センター(0120-737-113)に相談してください。

お願い
再びご使用を開始されて、万一味やにおいに異常を感じられたら、TOKAIお客様センター(0120-737-113)にご連絡いただき機器内部のメンテナンス(有料)をご依頼ください。

① ウォーターサーバーのラップを取る。
② 背面の温水ドレン口が閉じられているか指で軽く回して確認する。
③ ボトルの差込口、冷水蛇口、温水蛇口、水受皿等の掃除を行なう。(「7. お手入れ方法と日常点検」参照)

④ ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。
⑤ ウォーターサーバーにボトルを差し込む。(「5-5」ボトルの取り付け方)参照)

⑥ 水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
⑦ 背面のHOT S/W(ホットスイッチ)がOFFになっていること、電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントに差し込む。
⑧ タッチパネルの[温水]を3秒以上長押ししてください。HOT灯が点滅します。HOT灯が点滅中に、温水注水ボタンを押します。水が出てきたらエア抜き完了です。
⑨ 冷水・温水の蛇口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨てて下さい。
⑩ 水漏れなど不具合が無いが確認する。
⑪ 背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をONにする。
⑫ トップカバーの上にボトルカバーを乗せる。
⑬ 適温になるまで30〜40分待つてご利用ください。室温により適温までの時間が長くなることがあります。

注意 ドレン口が開まっているか確認

お願い 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

① 電源コードや電源プラグが変色したり、異常になっていないか。
② 電源コードに傷や変形が無いか。
③ 焦げくさい臭いがしないか。
④ 電源コードが重いもの下敷きになっていないか。
⑤ 電源プラグの刃先にホコリがたまっていないか。

以上のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご注意ください。

⑥ ボトルがウォーターサーバーにしっかり装着されているか。斜めになっていないか。
⑦ 温水ドレン口や各蛇口から水漏れはないか。
⑧ ウォーターサーバーの下部やまわりに水漏れしていないか。

以上のような状態があった場合は、感電事故や二次被害のおこる原因となりますので特にご注意ください。

異常・故障かな?と思ったら

現象	確認事項	対処方法
1. 冷水・温水が出ない(水量が少ない)	① ボトルが空になっていませんか ② エア抜きができていますか ③ チャイルドロックモードになっていませんか ④ 内部クリーン中ではありませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「4. ご使用方法」の「3) チャイルドロック」をご覧ください ⇒「7. お手入れ方法と日常点検」の「2) 内部クリーンについて」をご覧ください
2. 冷水も温水もぬるい	① 電源プラグが抜けていませんか 正面のランプが点灯していますか ② 停電ではありませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒通電されるまで待つ
3. 冷水になるが温水(熱く)にならない	① HOT S/W(ホットスイッチ)がONになっていますか HOT灯が点灯していますか ② 供給能力以上に使用していませんか ③ 直前までサーバー周辺が暗くなっていませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「2. 各部の名称と仕様」をご覧ください ⇒「4. ご使用方法」の「5) LIGHT SENSOR(ライトセンサー)について」をご覧ください
4. 温水になるが冷水(冷たく)にならない	① ウォーターサーバー周辺のスペースは開けられていますか ② 背面のコンデンサにホコリが付着して熱がこもっていませんか ③ 直射日光が当たっていませんか	⇒「3. 設置方法」をご覧ください ⇒「7. お手入れ方法と日常点検」をご覧ください ⇒直射日光が当たっている時は当たらない場所に移動させてください
5. 水が漏れている	④ コンプレッサーの音は普段と同じですか ⑤ 供給能力以上に使用していませんか ⑥ 内部クリーン直後ではありませんか	⇒「7. お手入れ方法と日常点検」の「2) 内部クリーンについて」をご覧ください ⇒「2. 各部の名称と仕様」をご覧ください ⇒「7. お手入れ方法と日常点検」の「2) 内部クリーンについて」をご覧ください
6. 水が漏れている	① ウォーターサーバーの下部や周辺から水が漏れていますか ② 蛇口から水が漏れていますか ③ ボトルから水が漏れていますか ④ 温水ドレン口のキャップから水が漏れていますか	⇒「7. お手入れ方法と日常点検」をご覧ください 水抜きを行い、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください ⇒温水ドレン口を開いても水漏れが止まらない時は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください

現象	確認事項	対処方法
6. ウォーターサーバー背面よりカチカチ音がある		⇒冷水サーモスタットの自動入切の作動音で故障や異常ではありません
7. ウォーターサーバー内部でピキッという音がある		⇒温水タンクの熱膨張によるもので、故障や異常ではありません
8. ウォーターサーバー背面よりビーンという音がある		⇒コンプレッサーが正常に作動していない可能性があります。TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください
9. ECOモードをHOTに切替えても温水がぬるい		⇒再加熱するためには10〜15分かかります。しばらく待ってからご使用ください
10. ウォーターサーバー内部でブザーが鳴っている	ウォーターサーバー周辺に漏水が起きていないか確認してください	⇒万一の漏水を検知するブザーが作動しました。TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください

※対処いただいてもよくならない場合や他のトラブルにつきましては、電源プラグを抜いてTOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください。

修理とアフターサービス

「8. 異常・故障かな?と思ったら」の内容をご確認していただき、解決しない故障や異常、および水の味や風味等の変化を感じられたときは、ただちにご使用を中止していただき、TOKAIお客様センター(0120-737-113)にご連絡ください。点検・修理等の対応をさせていただきます。

●修理を依頼される時は次の事項をお知らせください。
①お名前、ご住所、電話番号 ②ご使用の機種名 ③故障や異常の内容をできるだけ詳しく

個人情報の利用目的
弊社(販売代理店)はお客様から預かりした個人情報の適切な保護管理に努めるとともに商品、サービスなどの販売、工事の実施、保守点検等に関するアフターサービス、新商品・新サービスのご案内などに利用させていただきますので、予めご了承ください。また、お客様により良いサービスを提供するため、グループ会社等と共同利用を行う場合がございますので、併せてご了承ください。なお詳しくは弊社(販売代理店)にお問合ください。